

# JIS

## 製図—投影法 —第4部：透視投影

JIS Z 8315-4 : 1999

(ISO 5456-4 : 1996)

(2004 確認)

(2008 確認)

平成 11 年 3 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

## まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が制定した日本工業規格である。これによって、JIS Z 8315:1984は廃止され、この規格に置き換えられる。

今回の制定によって JIS Z 8315群は、ISO 5456, Technical drawings — Projection methodsの各部に一致した規格となった。

JIS Z 8315群は、規格の名称の前付け及び主題を“製図—投影法”とし、次の各部からなる。

第1部：通則

第2部：正投影法

第3部：軸測投影

第4部：透視投影

この部には、次に示す附属書があるが、規定事項ではない。

附属書A(参考) 各種の透視投影法による作図例

附属書B(参考) 参考文献

---

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：平成 11.3.20

官 報 公 示：平成 11.3.23

原案作成協力者：財団法人 日本規格協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 基本部会（部会長 今井 秀孝）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部管理システム規格課（☎100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 製図—投影法

Z 8315-4:1999

## —第4部：透視投影

(ISO 5456-4:1996)

Technical drawings — Projection method  
— Part 4 : Central projection

**序文** この規格は、1996年に第1版として発行された ISO 5456-4:1996, Technical drawings — Projection methods—Part 4 : Central projection を翻訳し、技術的内容及び規格票の様式を変更することなく作成した日本工業規格である。透視投影(中心投影)とは、投影面(通常、製図面)から有限の距離にある点(視点)から対象物を投影して、実物に近い絵画的な表現を与えるものである。透視投影は、対象物を眼に見えるように表現(単眼画像 monocular vision)できるので、しばしば建築関係の製図に使用される。

**1. 適用範囲** この規格は、JIS Z 8315-1に規定された一般規則に従って、すべての技術分野であらゆる種類の製図に対して透視投影を行う場合の基本的な規則を規定する。

**2. 引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの規格は、その最新版(追補を含む。)を適用する。

JIS Z 8114 製図—製図用語

備考：ISO 10209-2:1993, Technical product documentation—Vocabulary—Part 2 : Terms relating to projection methodsからの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

**3. 定義** この規格で用いる主な用語の定義は、JIS Z 8114及び次の定義を適用する。

**3.1 アライメント線(alignment line)** 投影中心(視点)(projection centre)を通る与線に平行な線。投影面との交点は、与線に平行なあらゆる直線の消点(vanishing point)になる。

**3.2 視高(height of projection)** 基準面(basic plane)から視点までの垂直距離。

**3.3 視距離(horizontal distance)** 視点と投影面(projection plane)間の距離。

**3.4 投影角度(projection angle)** 投影面と地平面(horizon plane)のなす角度。

**3.5 測点(scale point)** 水平なアライメント線と地平線のなす角度を二等分する線に直交する水平方向にある消点。これによって、ある特定する線の投影の実長が分かる。

**3.6 停点(station of observation)** 視点を基準面上に正投影した点。

参考 立点と呼ぶ場合がある。